ナレッジ×AIエージェントが支える次世代FAQ運用 ~運用負担を減らし、品質を高めるFAQ進化法~

アクセラテクノロジ株式会社

取締役 COO

萩原純一

アクセラテクノロジ株式会社 ご紹介



■ 設立:2001年7月

富士通(株)のベンチャー起業制度により検索技術を強みとした ソフトウェアプロダクト開発企業として創業

ミッション:「お客様の事業をアクセラレート(加速)」

企業の業務をナレッジ×AI®の取組みでより良くする ご支援をITシステムとサービスの両面から提供

■ 代表:代表取締役社長 進藤達也 博士(情報科学)

■ 商品・サービス:

SolutionDesk ナレッジ×AIによる問題解決システム(ナレッジ活用IT)

K-Board ナレッジボード(ナレッジ創出IT)

BizAntenna 多言語ナレッジベース(自動翻訳連携)

TanQlo エンタープライズサーチ(オンプレミス製品)

BizSearch ASPサイト検索 ホームページのサイト内検索

達人シリーズ コンサルティングとIT導入支援による業務特化型改善サービス

1,000社以上のナレッジ活用導入実績



Panasonic

































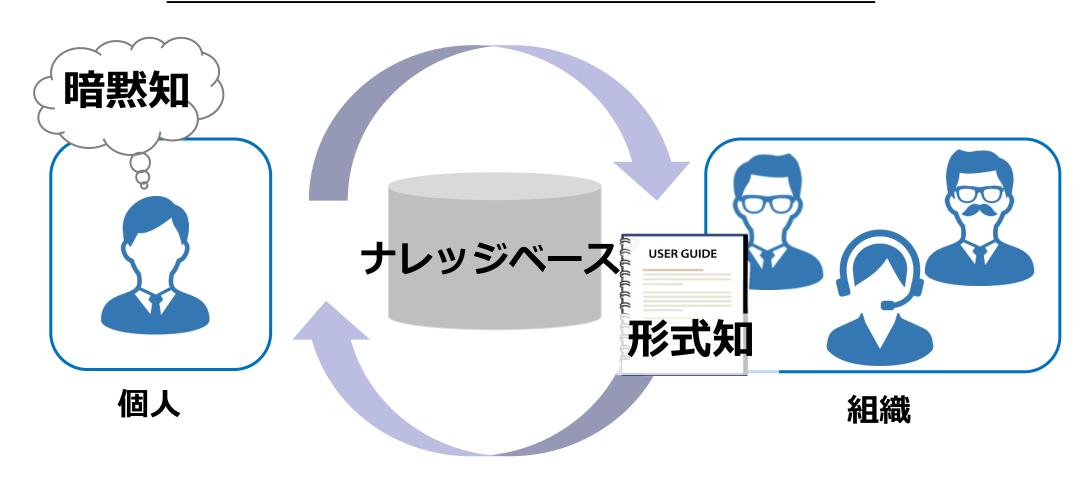




ナレッジマネジメント⇒ナレッジ×AI



個人のノウハウを組織で共有できる状態に

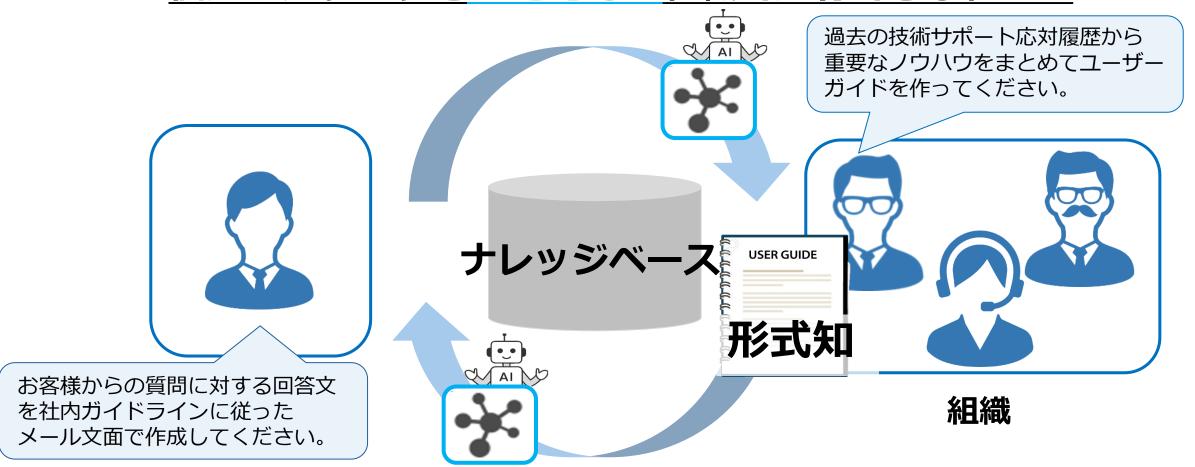


組織の知識を活用し業務遂行

ナレッジマネジメント⇒ナレッジ×AI



個人のノウハウをAIとともに組織で共有できる状態に



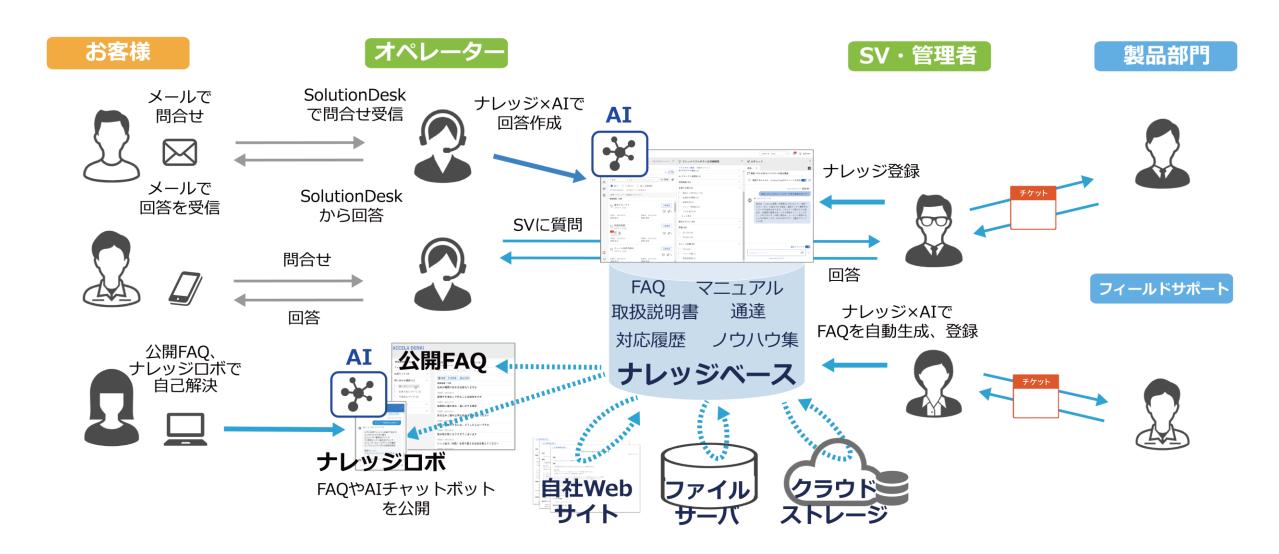
組織の知識をAIとともに活用し業務遂行

SolutionDesk: ナレッジ×AI実践プラットフォーム



組織や部門をまたいでナレッジ×AIを実践できる業務基盤

チケットで業務を漏れなくつなぎナレッジ活用をAIが支援、人とAIの協働によりDXを現実的に推進



AIエージェント(AIチャットとの違い)

生成AIというと...

- ・チャットインターフェース(AIチャット)で会話的に情報を引き出す
- ・AIに考えさせる

SolutionDeskのAIエージェント

チャットインターフェースではなく AIエージェントが現場の一員として自然に業務へ参加する

	AIチャット(従来型)	AIエージェント(次世代)
使い方	聞いたら答えるチャット ユーザが能動的に質問	業務に組みまれ自立動作 業務フロー上で自動的に起動・実行
業務適用範囲	一部の利用者に偏りやすい	現場の誰でも使える・定着しやすい
効果	利用者次第で成果が分かれる	組織全体の効率化・自動化を促進

ナレッジ×AI®で実現するソリューション(CRM分野)



応対履歴とマニュアルから 本当に使えるFAQ作成

シナリオレスで **AIチャットボット導入**

会議メモから 議事録作成

マニュアルの更新差分を反映した 新機能教育資料作成

AIによる **新人に対する教育、アドバイス** 業務手順と実際の応対の差異から **課題抽出**

マニュアル、社内通達・通知を活用した **応対改善**

> 問合せ返信文の **自動作成**

メールでのやり取りを **チケット管理**

業務のやりとりの断片から 業務サマリー自動作成 (属人化排除) 問合せ案件の見える化による 抜け漏れ防止

問合せ削減につながる 簡単FAQ公開

システム利用履歴をもとにした **改善策立案**

ドリルダウンRAGによる精度の高いAI活用で **応対品質向上**

> タスク管理を使った **お客様対応の自動化**

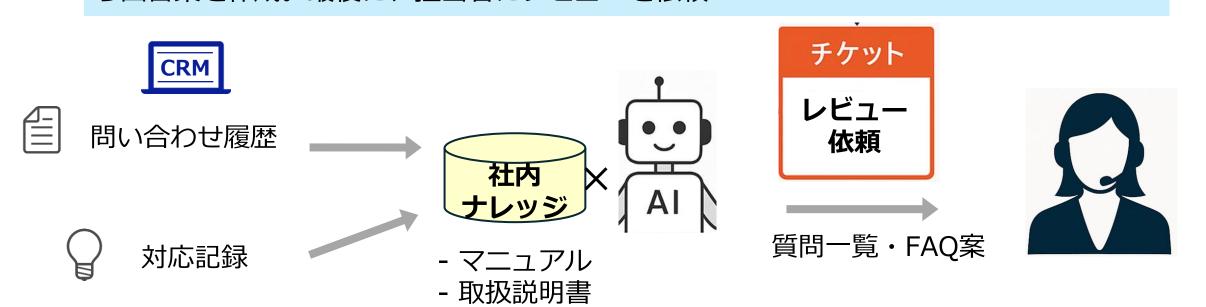
①「本当に使えるFAQ作成」ナレッジ×AI



<u>AIに担ってもらうこと</u>

FAQの作成支援:

問合せ履歴や対応記録、通話記録から質問を作成。その質問に対して、社内ナレッジから回答案を作成。最後に、担当者にレビューを依頼



顧客満足度・対応コスト両面で改善

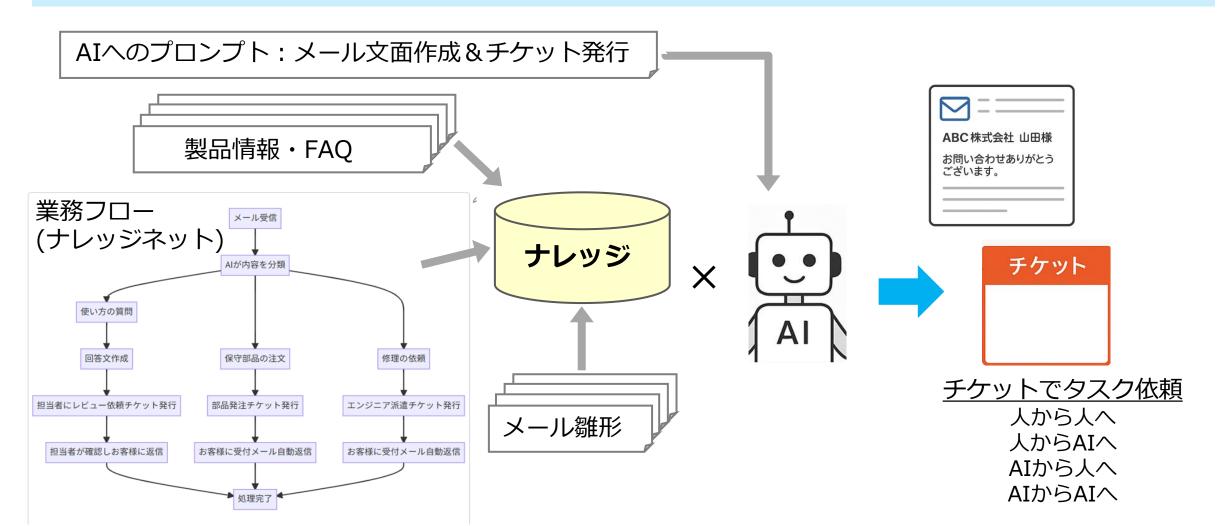
- 既存FAQ

②「お客様対応の自動化」にナレッジ×AI



<u>AIに担ってもらうこと</u>

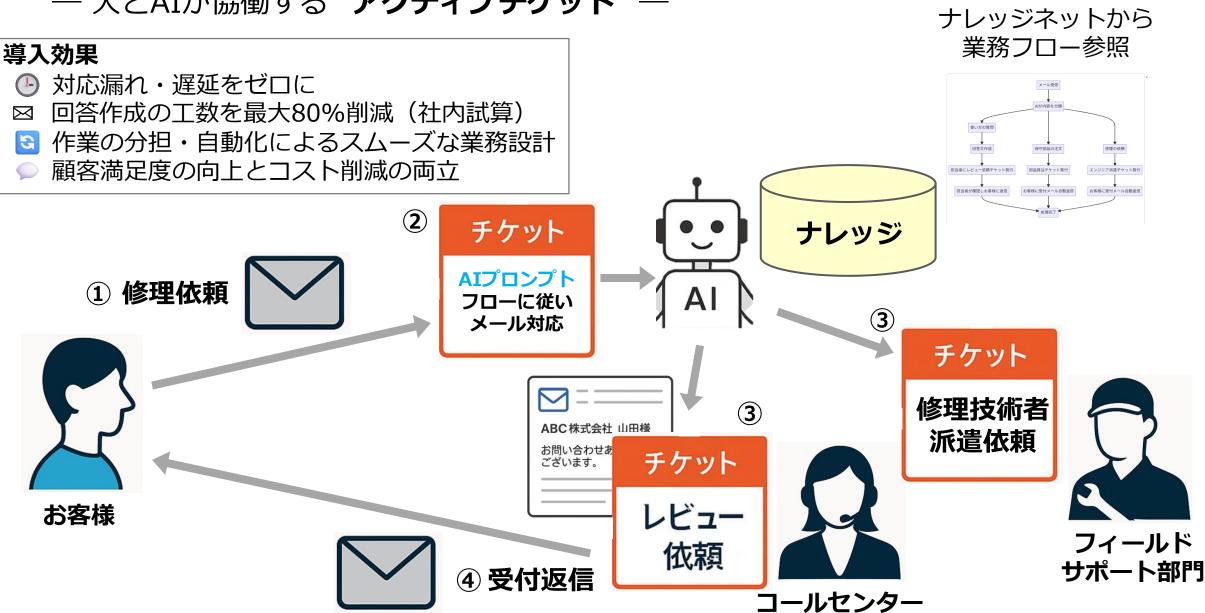
業務自動化:お客様からの問合せメールに対する抜けの無い業務遂行をチケット介してAIが支援



②「お客様対応の自動化」にナレッジ×AI



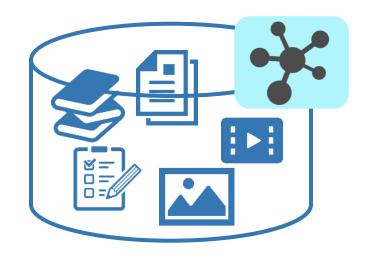
一人とAIが協働する "アクティブチケット" —



ツール提供と伴走型サービスの両輪でご支援







SolutionDesk



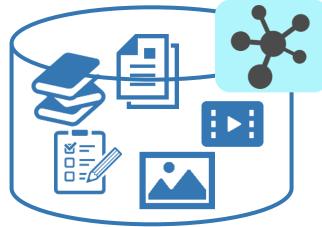
伴走支援サービス

SolutionDesk:業務とAIが共存する基盤









生成AIを搭載した ナレッジマネジメント基盤

部署ごとに独自の ナレッジベースを構築

部署内/全社共有に対応

チケット管理による 業務依頼・進捗管理

共通ナレッジベースを参照し AIが業務支援・自動化

CRMやSFA、設備管理など 既存システムと柔軟に連携

ナレッジ×AI伴走支援サービス:



1) ナレッジ×AI業務革新テンプレート

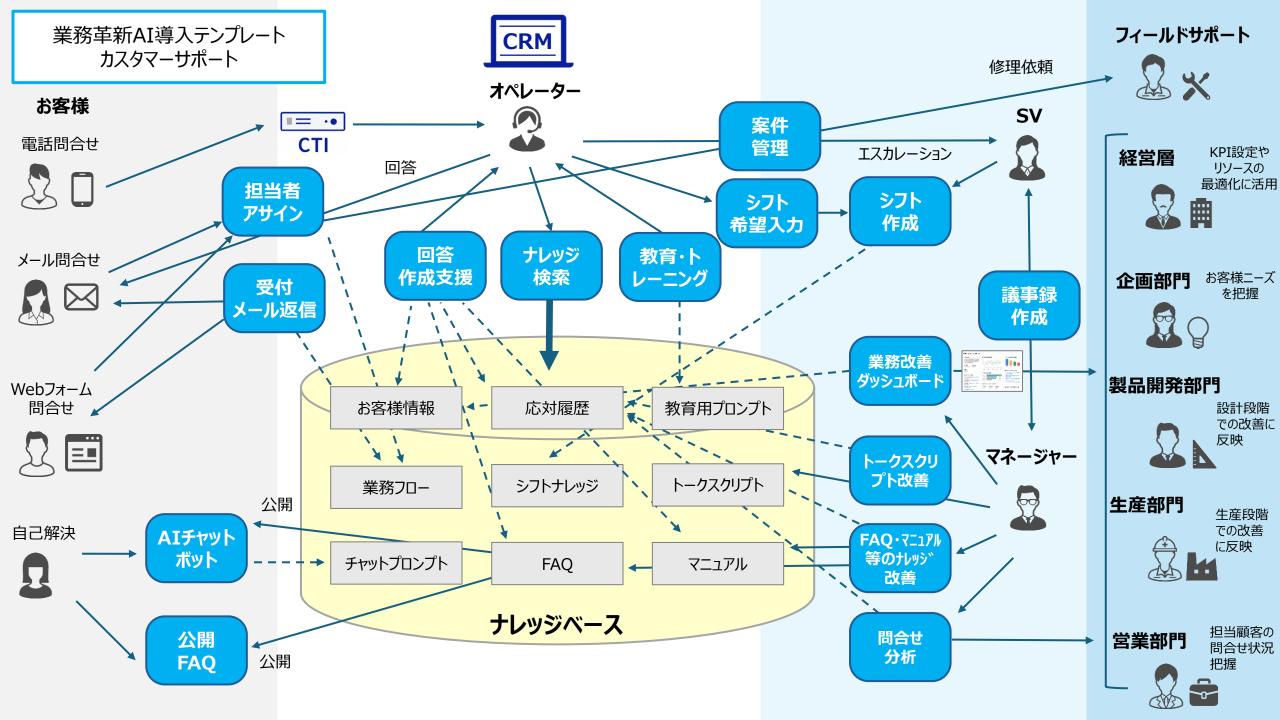
AI導入の大きなハードル: **完成型が見えないまま始めてしまう**

ナレッジ×AI業務革新テンプレート



「あるべき業務構造」を モデルとして可視化

- ・自社の業務全体がどう変わるのか
- ・AIとナレッジがどこで結びつき、価値を生むのか



ナレッジ×AI伴走支援サービス:



2)伴走支援体制 — 継続的な進化を可能にする仕組み

"導入して終わり"にしない――継続のための伴走支援体制

継続的な運用サポート

情シス的な役割やヘルプデスク機能も代行し、 現場からの問い合わせや運用改善を継続的に支援

属人化の防止

特定の担当者や一部のメンバーに依存しない体制を整え、引き継ぎの心配なく改善を続けられる仕組みを提供

進化を前提とした支援

AIや業務の変化に応じて、テンプレートのカスタマイズや ナレッジ更新を定期的に行い、企業の成長に合わせた進化を実現

SolutionDeskワークショップ



ワークショップでは…

- AI経由でナレッジを参照した時の、具体的な回答を確認できます
- 参照するナレッジをキーワード検索やドリルダウンで絞り込んだ際の回答の違いを確認できます
- プロンプトの共有や活用の仕方をご紹介、プロンプトの工夫による回答の違いを確認できます

© Accela Technology Corp.



コールセンター/CRMデモ&コンファレンス SolutionDesk



間:11月13日(木)-14日(金)

時 間:10:00-17:30

会 場:池袋サンシャインシティ 文化会館

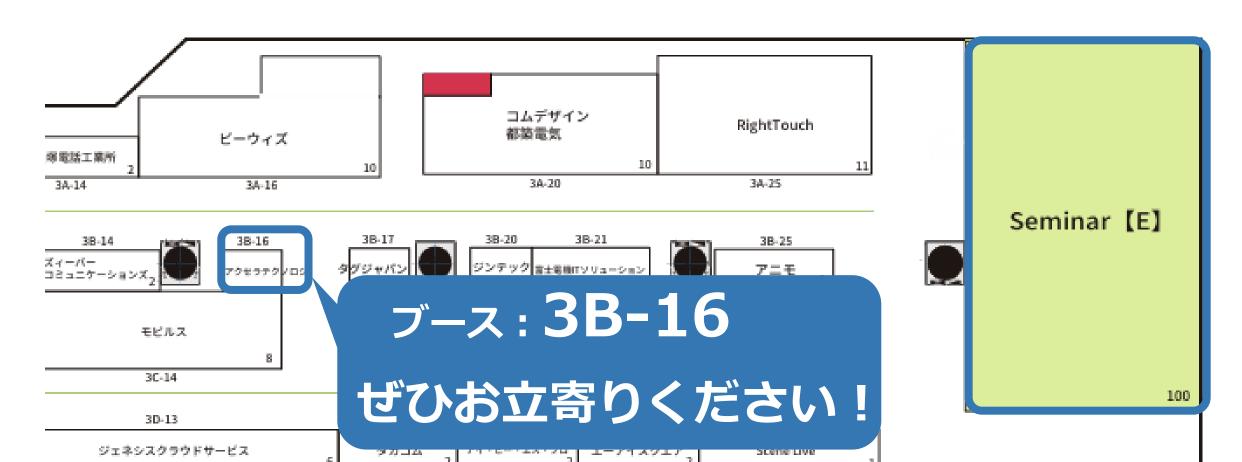
ブース: 3階 3B-16

【講演】

「カスタマーサポート業務はこう変わる!

AI活用を業務シーン別に徹底解説 |

日時:11月13日(木)14:10-14:55





ナレッジ×AI®で業務革新

© Accela Technology Corp.